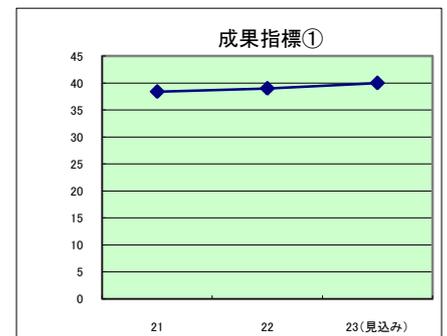
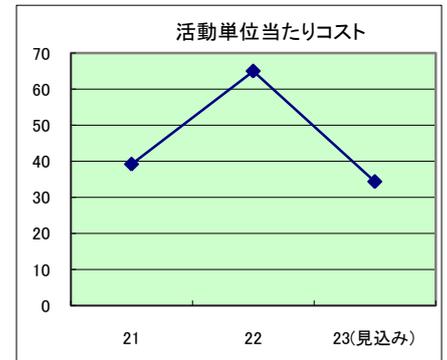


平成 23 年度 事務事業評価シート(平成 22 年度実施事業)

整理番号 教生図04

事務事業名		子ども読書活動推進事業		予算科目	会計	1	一般会計	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	4	魅力ある地域社会を拓く活力あるまち		款	10	教育費	
	施策(節)	3	生涯学習		項	5	社会教育費	
	施策の方向	(3)	図書館活動の充実		目	9	図書館運営費	
関連する計画等					事業	8	図書館総合運営	
対象(誰を・何を)				作成部署	教育委員会事務局生涯学習室図書館課			
市民(おおむね18歳までの市民と子どもにかかわる大人)				連絡先	072-950-5501 内線			
意図(どういう状態にしたいのか)								
次代を担う子どもの健全な育成とそのための読書環境の整備を図る。								
平成19年3月に策定した「羽曳野市子ども読書活動推進計画」に基づき、次の活動に重点的に取り組む。								
<ul style="list-style-type: none"> 子どもが読書に親しむ機会の提供と、そのための環境整備を行う。 家庭・地域・学校・図書館の連携と市全体としての取り組みの推進を行う。 子どもの読書活動への理解と関心を深めるため、啓発・広報活動を行う。 								
平成22年度、大阪府から子育て支援交付金により、資料の充実を図った。また、市役所横、森のゆうびんきょく内に、児童書約1000冊を配架し定期的にボランティアによるお話し会を開催している。								
根拠法令等		社会教育法、図書館法						
事業開始時期		<input type="checkbox"/> 昭和 19 年開始 <input type="checkbox"/> 明確にはわからない <input checked="" type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 市制施行(昭和34年)以前より行っている		終了年度		平成 年度		
事業開始時からの状況変化		市役所横、森のゆうびん局内に児童書約1,000冊を配架し、定期的にボランティアによるお話し会を開催している。						
市民や議会の要望		子どもが本に親しめるための読書環境の整備						
実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金・助成金 <input type="checkbox"/> その他()						
委託先		<input type="checkbox"/> 市外郭団体委託 名称() <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> その他		委託内容				

区分		21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込み)	
事業費【1】(千円)		224	9,671	528	
人件費【2】(千円)		12,000	10,536	10,464	
職員数	正規職員	0.14 人	0.12 人	0.12 人	
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	嘱託職員	3.55 人	3.28 人	3.25 人	
	臨時職員	1.35 人	1.00 人	1.00 人	
超過勤務(参考)(時間)		0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間	
総事業費(【1】+【2】)【A】(千円)		12,224	20,207	10,992	
財源内訳	国費(千円)				
	府費(千円)		9,670	500	
	市債(千円)				
	その他(手数料・使用料等)(千円)				
一般財源(千円)		12,224	10,537	10,492	
活動指標(事業の活動実績)【B】		単位	21年度	22年度	23年度(見込み)
① 児童書貸出冊数		冊	311,902	310,871	320,000
② 子どもの登録状況		人	7,204	7,089	7,200
③					
活動単位当たりコスト(【A】/【B】①)			39 円	65 円	34 円
市民1人当たりコスト(【A】/人口)			103 円	171 円	93 円



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名	単位	指標設定の考え方	平成21年度		平成22年度		平成23年度
				目標	実績	目標	実績	達成率(%)
①	児童一人当たり児童書貸出冊数 (式) 児童書貸出冊数 ÷ 登録児童数	冊	登録児童一人当たり何冊の本を借りているか	36	38	39	39	100.0%
②	(式)			目標				達成率(%)
				実績				

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある		
○	○									有	「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき推進する必要がある。

視点	分析のためのチェック点	評価			分析・評価の説明
		はい	いいえ	該当なし	
妥当性	市民ニーズが高い	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、平成19年3月「羽曳野市子ども読書活動推進計画」を策定し、子どもたちの読書環境の整備に取り組んでいる。今後も計画の実現に向けて推進していく必要がある。
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	社会情勢の変化に対応している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	国・府の事業と重複していない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	緊急性が認められる	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	図書館資料を有効に活用し、効率的な事業の推進に努めている。また、ボランティアによるお話し会を各所で開催している。
	受益者負担の割合は適当である	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
	人員を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業費を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	簡略化できる方法や手段がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市の他事業と重複していない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
有効性	上位の施策(目的)が明確である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	次代を担う子どもの健全な育成と、そのための読書環境の整備を図る上で有効である。
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	成果を向上させる余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	市民の視点にたってサービスが提供されている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	事業の推進には、家庭・地域・学校などが一体となった取組みが必要であり、ともに推進していけるよう働きかけている。
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
達成度	成果指標の目標値は適正である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	個人貸出は横ばいであったが、団体貸出の利用が増加した。
	成果指標の実績値は目標値以上である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	成果指標は前年度より向上している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

担当部局評価	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡大・充実 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 民営化・民間委託 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了
	評価の理由	平成22年度は、大阪府の「子育て支援交付金」により、児童書の充実が図られた。また、市内の小学校や保育園・幼稚園などの団体に児童書のセット貸出を始めたことで、団体貸出が増加した。
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)	
		推進体制の整備を図り、関係機関と連携しながら、事業を推進していく。

行本部評価	総合評価	評価理由・意見
	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・充実 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 方法改善 <input checked="" type="checkbox"/> 民営化・民間委託 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止 <input checked="" type="checkbox"/> 完了	